

熊本県のオリンピック



2021年の夏に、県内で3つの海外チームが東京2020オリンピック事前キャンプを行いました！

インドネシアバドミントン代表チーム

7月9日から11日間、熊本市と益城町において、インドネシアのバドミントン代表チーム25名が、オリンピック事前キャンプを行いました。

コロナ禍でのキャンプは、厳しい行動制限を伴うもので、交流もオンラインのみとなりましたが、七夕飾りでの応援メッセージや、県立南稜高校の生徒による手作りスイーツの提供など、スタッフ一丸となって精いっぱいのおもてなしを行いました。

その結果、インドネシアは、女子ダブルスで金メダル、男子シングルスで銅メダルという好成績を収め、チームからは、熊本でのおもてなしに対する感謝状が送られました。



練習風景



インドネシアバドミントン代表チーム

ドイツ競泳代表チーム

ドイツ競泳代表チーム52名は、7月12日から10日間、熊本市のアクアドームくまもとにおいて、キャンプを実施しました。滞在中、チームと地元小学生がオンライン交流を実施し、練習風景の見学や選手への質問のほか、児童からドイツ語での応援メッセージを伝えました。

同チームの熊本市での合宿は、2019年の韓国での世界水泳選手権大会に続いて今回で2回目となります。そして、来年福岡市で開催される世界水泳への出場のため、3回目の合宿が実施される予定です。



ドイツ競泳代表チームの練習風景

アンゴラ女子ハンドボール代表チーム

アンゴラ女子ハンドボール代表チーム20名は、7月15日から7日間、玉名市でキャンプを行いました。滞在中は、練習風景の動画配信や、地元中学生とのオンライン交流が行われました。

選手団が、オリンピック開会で玉名市マスコットキャラクター「タマにゃん」のマスクを着用して入場したり、選手村からメッセージ動画でお礼を伝えるなど、キャンプ後も温かい交流が行われました。



アンゴラ女子ハンドボール代表チームと地元中学生とのオンライン交流

熊本県国際協会総会の開催について

令和3年度熊本県国際協会総会は2021年6月4日に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、書面にて開催いたしました。会員団体91団体に書面議決書を送付し、過半数の65団体から回答が得られました。議案につきましては、原案どおり承認されました。

2回目の書面開催ということもあり、無事に総会を終えることができました。

国際事業部会事業提案会について

2021年8月28日に国際事業部会事業提案会を開催し、熊本県アイルランド協会の提案事業「第16回熊本2022セント・パトリックス・デイ・パレード」が採択されました。

※本年度開催を予定していました当事業については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中止することとなりました。

熊本県国際交流祭典のオンライン開催について

新型コロナウイルスの感染拡大により、これまでのような対面形式での熊本国際交流祭典の開催が困難だったため、本年度は、会員団体の国際交流・国際協力活動を広く世界中に知ってもらうための活動紹介の動画をYouTubeにて公開しました。

公開期間は、2022年1月17日から2023年3月26日となっています。



動画はこちらから



私の国際交流

NPO法人熊本インドネシア友好協会代表 森 義臣

私が国際交流活動に初めて関わったのは、1967年の韓国釜山港開港記念コンサートに招待され、玉名女子高校吹奏楽部を引率した時のことである。

コンサートに参加するだけでなく高校生同士の交流も行われた。交流に際して、言葉は大丈夫か、韓国の子どもたちに話しかけて他所を向かれてしまって恥をかいたらどうしよう等不安を抱えていた。ところが引率教師の独りよがりの取り越し苦労であった。玉名女子高校の生徒たちが韓国の高校生と大声で談笑して、別れのときは肩を組み、ハグをしている姿に、私の不安は払拭され涙腺が緩んだ。彼女たちが輝いて見えた。

生徒の輝きに味をしめた教師の私は、生徒のグローバルな視野を育成し、コミュニケーション力を高めるために国際交流推進者となった。1990年、アメリカアイオワ州でのグレン・ミラーフェスティバルに参加する機会を得てから、交換留学生制度、姉妹都市・姉妹校締結まで発展し、今日まで継続されている大きな成果を生んだ。2000年に玉名女子高校を退職後、2001年に崇城大学吹奏楽団顧問、2003年に玉名市教育長などを務める間も国際交流は続けた。

ある日、インドネシアの実業家として成功した洋子スリアワンさんとお会いした。その際、彼女から熊本との交流を果たしたいという意向を聞き、大いに賛同し、2008年にインドネシア交流の任意団体を組織した。会員が増加し、2013年5月に特定非営利活動法人熊本インドネシア友好協会 (KIFA) として再出発を行った。

2015年6月に蒲島郁夫知事をトップに108名の各界各層の代表者の方々とインドネシアを訪問し、ジャカルタとバリで「KUMAMOTO DAY」を開催して熊本をアピールした。その後も商工会議所・経済同友会などの方々とバリ州知事との懇談を行った結果、熊本県とバリ州のMOU調印、大学間のMOU、経済界の人材交流などに繋げることができた。



主な経歴

- 元玉名女子高等学校吹奏楽部顧問
- 元玉名市教育長
- 崇城大学吹奏楽団顧問
- NPO法人熊本インドネシア友好協会理事長
- ケア・サポーターズクラブ熊本会長
- 熊本県マーチングバンド協会名誉会長
- 九州マーチングバンド協会会長



バリ訪問中の一枚 (2017.9 熊本県の経済界と)

外国語ができないので熊本弁だけで国際交流に関わっているが、交流を通して子どもたちの喜ぶ姿、行政をはじめ熊本県の方々が各界で推進する姿をみて、自分に関われることに感謝しながら、雑用だけでもサポートできることが幸せな55年である。

菊池女子高等学校について ～新規入会団体の紹介～

菊池女子高等学校は、少人数制で家庭的な温かい雰囲気、一人一人を大切に育てる学校です。地域間交流、世代間交流、国際交流を柱にしています。普通科と家庭科併せて6の選べるコースがあり、ファッション、フード、保育・高齢者福祉、地域ビジネス、語学・異文化共生の学びなど、興味関心のある分野で将来を視野に入れながら学びます。

全校対象で、ICTを利用した国際交流、多様性に関する講座を行いますが、特にグローバルコースでは、『Diversityの学び』を軸に、違った価値観や習慣と出会い、認め合い、他者と敬意を持って生きることを学びます。米国、ドイツ、韓国、グルジア、ベトナムなど十数カ国の学生たちとオンライン授業を継続しています。

また、「国内留学」と称する、県在住外国籍の方々から、言語、文化、料理などを学ぶプログラムも、英国、カナダ、オーストラリア、スリランカ、ベトナム、中国、韓国、フランスの方々を招き活動してきました。ネイティブスピーカーと英語だけで過ごす「English Day」は英語で話す積極性を育て、今年度、熊本県のスキットコンテストで3位入賞しました。

さらに、外国籍の方々に「日本語を教えるということの学び」や、写真にあるように毎月の熊本豪雨災害支援、子ども食堂などのボランティアを通し、地元愛や他者をいたわる心、日本人としてのidentityも大切にしながら、偏りのないグローバルな未来を生きる人材育成をしたいと思えます。



オンラインで異文化交流！



スリランカについて学びました！



第6回熊本県スキットコンテスト3位入賞



ボランティア活動中の生徒さんたち

熊本YMCA本館が段山本町に開館しました

(公財) 熊本YMCA 中村 賢次郎

「防災と地域のつながり」

2021年5月、熊本YMCA本館が段山本町に開館しました。熊本地震や各地の災害などで、災害の備えや地域の連携を考える必要性が益々増加していることから、この本館は、建物の構造を強化しています。井戸、マンホールトイレ、かまどスツール、防災収納ベンチ、太陽光パネル、自家発電設備を備え、一次的な避難場所としての活用も想定しています。安全、安心な環境のもと、会員の皆さん、地域の皆さんと共に社会課題に取り組み、地域に愛されるYMCAを目指して新たな歩みを進めていきます。



熊本YMCA本館

「グローバルな人材の育成」

各専門領域のプロフェッショナルの育成を目指す専門学校、7カ国からの留学生が在籍する日本語学校、多彩な語学プログラムを展開するランゲージスクールの連携を促進します。留学生と外国人講師の国籍をあわせると、約20カ国にもなる多国籍な教育環境、さらに、部門を越えた特別プログラムの実施など、より活発に交流できる場を提供し、グローバルな人材の育成を図ります。



学生たち

「子育て世代、シニア層を支援」

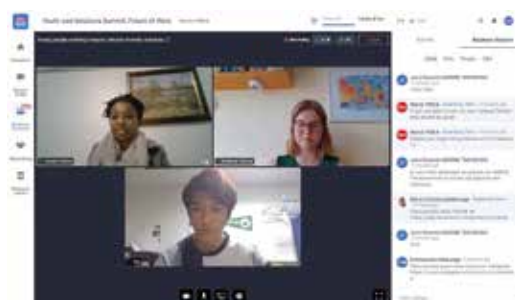
キャンプ、こどもヒップホップのほか、一人ひとりのニーズに合わせた療育を行い、障がいのある子どもたちに自分自身が認められる居場所を提供する放課後等デイサービスなどのプログラムを通し、すべての子どもたちが笑顔で活動できる場となることを目指します。また、ヨガ教室やシニア世代のためのマッスル体操、チャリティープログラムなども実施しており、様々な世代に向けたプログラムを提供します。



英語教室



日本語教室



世界ユースサミット Zoom

熊本YMCA本館では、様々なプログラムと貸室の利用も可能です。ぜひ一度ご見学ください。

お問い合わせ先 096-353-6391 <https://www.kumamoto-ymca.or.jp/>

▶ 熊本県多文化共生支援事業

熊本県外国人サポートセンター運営事業

県内の外国人住民の方が安心して暮らせるよう、多言語相談窓口（県庁本館7階）を運営し、生活全般に係る相談対応や、多言語での情報発信に取り組みます。

地域コミュニケーション支援事業

外国人住民向けの地域日本語教室の設置・運営、日本語教育人材の育成、地域日本語教室運営ノウハウの市町村への移転等を行います。外国人住民に対し日本語教育が行き届く環境整備を行い、地域社会の一員として受け入れられ、地域において活躍できるような多文化共生のまちづくり推進を図ります。

外国人との共生環境整備支援事業

市町村による外国人受入連絡協議会（仮称）の開設・運営に係るアドバイザーの派遣、協議会関係事業への補助を行います。市町村で把握できていない課題を掘り起こし解決するための協議会を各市町村に設置し、市町村と企業、警察・消防等の地域コミュニティとの繋がりを構築し、多文化共生のまちづくりを推進します。

▶ 災害時外国人支援体制構築事業

災害時においても外国人の方がとり残されることのないよう、地域住民・自治体が一丸となりサポートできる体制づくりや多言語対応等のためのツールを整備します。

- 地域防災訓練への外国人住民の参加促進
- 自治体職員向け研修
- 災害時多言語共生サポーター（仮称）の養成・登録
- 災害時多言語コールセンターの設置

熊本県外国人サポートセンター

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1 県庁7階

TEL 080-4275-4489 開館時間 8:30~17:15

URL <http://www.kuma-koku.jp/support-center/>

E-mail kuma-support-center@aioros.ocn.ne.jp

休館日 土日祝日、年末年始（12/29~1/3）

Facebook▶



センター HP▶



発行／熊本県国際協会